

# マンション向け大型門扉 取付説明書

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。  
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行なってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。  
施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

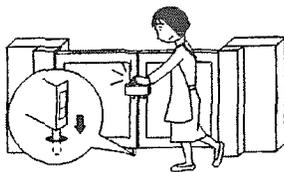
## 施工時の注意事項 施工にあたっては次の点をご注意ください。

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋込柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけます腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置決めしてください。
- 地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- 寒冷地では柱を立ててからモルタルを詰めてください。モルタルを入れてから柱を立てると、柱内部に水が入り凍結破損の原因となります。
- 外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 錠・ヒンジなど他金物の取付けは、各梱包内の説明書を参照してください。
- 施工完了後は扉の開閉チェックを行い、不具合が無いか確認してください。
- 改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

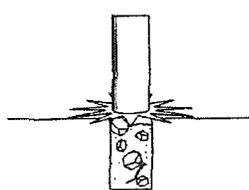
- ⚠ **注意** 通常ご使用されない場合は必ず施錠してください。  
また、落し棒の付いている製品は、必ず落し棒を落してください。



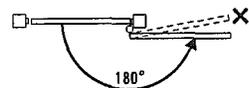
- 突風などで扉が開き、人や壁に当たると事故や破損につながります。

- ❗ 落し棒に土・砂・ゴミなどがたまった場合は、必ず取り除いてください。定期的なおそうじをおすすめします。

- 落し棒のかけがりが小さくなると突風で扉が開き、人や壁に当たると事故や破損につながります。



- ❗ 扉を 180° 以上開かないでください。



- ⚠ **注意** 開閉操作の際は、周囲に人が物がいないことを必ず確認してください。  
また、開閉操作はゆっくり行ってください。



- 扉に人がはさまれ、事故の発生する恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。  
■急激な操作は、思わぬ事故につながります。

- ⚠ **注意** 扉の上に乗ったり、物をのせたりしないでください。  
また、むやみにゆすったりしないでください。



- 転落したり、脱落により事故が発生する恐れがあります。

- ⚠ **注意** ネジ・ボルトのゆるみが発生した場合は、必ず増し締めを行ってください。  
また、むやみに改造などはしないでください。

## ⚠ 注意

- 各ボルト・ビス類は、確実に締め付けてください。
- 無理にボルト・ビスを締め付けしないでください。破損の原因となります。
- 施工完了後は、扉の開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。



ドアクローザ・錠は、別途現場手配してください。（※取付けについては、各説明書に従ってください。）

※この説明書内のイラストは、「右勝手・外観図」で表わしています。

# もくじ

梱包明細.....	2	5. 扉取付け後の作業.....	9
納まり図.....	3	5-1 門柱カバーの取付け.....	9
1. 壁付支柱の取付け.....	4	5-2 錠の取付け.....	10
1-1 後施工アンカーの埋め込み.....	4	5-3 錠受けの取付け.....	10
2. 壁付門柱の取付け.....	5	5-4 戸当りの取付け.....	11
2-1 柱の種類と左右勝手の確認.....	5	5-5 ドアクローザの取付け.....	11
2-2 吊元門柱・戸当り門柱の取付け.....	5	5-6 落とし受けの取付け (※両開きの場合).....	12
2-3 吊元用平丁番の取付け (※吊元柱のみ).....	6	施工完了時の注意事項.....	12
3. 上枠の取付け.....	7	施工工事店様、販売店様へのお願い.....	12
3-1 上枠固定板の取付け.....	7		
4. 扉の取付け.....	8		
4-1 扉の取付け.....	8		
4-2 縦框キャップの取付け.....	8		
4-3 扉位置の調整.....	9		

## 梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

表内の（ ）は個数を表しています。※は奥行または間口によって個数が異なります。

梱包名称	梱包内容	
掛扉	扉本体 (1)・部品セット [縦框キャップ (2)・縦框キャップ (2)・セムスビス (2)・取付説明書 [ME-1600] (1) ]	
受扉	扉本体 (1)・部品セット [縦框キャップ (2)・縦框キャップ (2)・セムスビス (2)・取付説明書 [ME-1600] (1) ]	
戸当り	戸当り (1)・戸当り固定裏板 (9)・取付けビス (9)	
三方枠	上枠	上枠 (1)
	壁付支柱	壁付支柱 (2)
	吊元門柱	吊元門柱 (片開き 1・両開き 2)
	戸当り門柱※	戸当り門柱 (1)
部品セット	片開き用	後施工アンカー (8)・M8用ナット (8)・M8用バネ座金 (8)・M8用平座金 (8)・アンカー座金 (8) φ5×10トラスタッピン3種 (16)・φ4×20トラスタッピン3種 (8) 吊元用平丁番 (2)・平丁番用裏板 (4)・φ4×8皿タッピン3種 (24) 上枠固定板 (2)・φ4×25ナベタッピン2種ガイド付 (8)・φ5×10トラスタッピン3種 (8) 錠取付ライナー (ケース側) (2)・錠取付ライナー (ストライク側) (13) (2) 取付説明書 [ME-1770] (1)
	両開き用	後施工アンカー (8)・M8用ナット (8)・M8用バネ座金 (8)・M8用平座金 (8)・アンカー座金 (8) φ5×10トラスタッピン3種 (16)・φ4×20トラスタッピン3種 (8) 吊元用平丁番 (4)・平丁番用裏板 (8)・φ4×8皿タッピン3種 (48) 上枠固定板 (2)・φ4×25ナベタッピン2種ガイド付 (8)・φ5×10トラスタッピン3種 (8) 錠取付ライナー (ケース側) (2)・錠取付ライナー (ストライク側) (7) (2)・落とし受け (1) 取付説明書 [ME-1770] (1)

※片開きの場合のみ必要です。

### ドアクローザ手配について

- ドアクローザは、日本ドアーチェック株式会社製『P-182L』を手配してください。
- 取付方法については、ドアクローザの梱包内の説明書に従ってください。

### 錠手配について

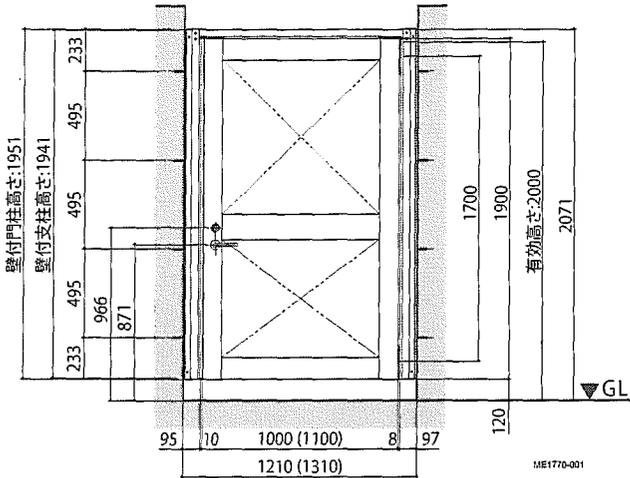
- 錠は、美和ロック社製『LHT\*-1 B.S.76 特注サムターン使用 ハンドル付』を手配してください。
- 取付方法については、錠の梱包内の説明書に従ってください。

# 納まり図

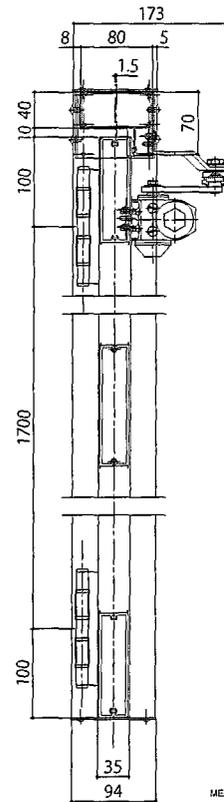
- 施工前に必ず確認してください。
- 本図は、右勝手、DW:1000 の場合の「外観図」を示しています。
- ( ) 内寸法は、DW:1100 の場合を示しています。

## 片開き

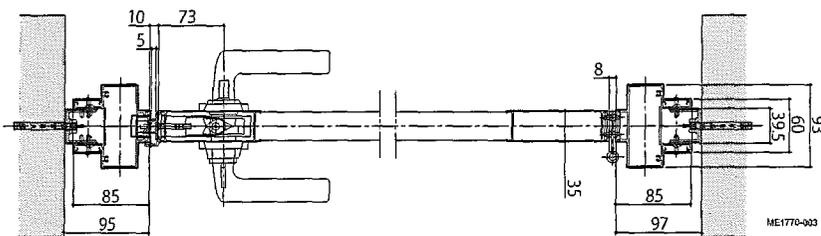
### ● 基本納まり図



### ● 縦断面図 (片開き・両開き)

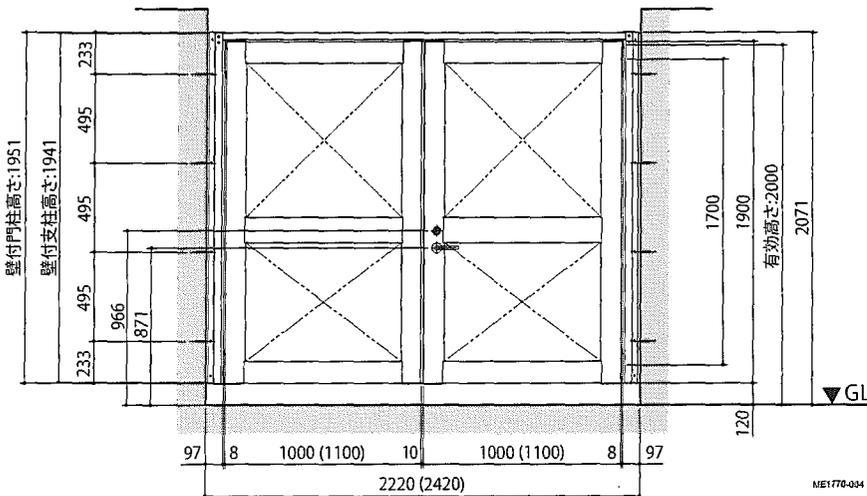


### ● 横断面図

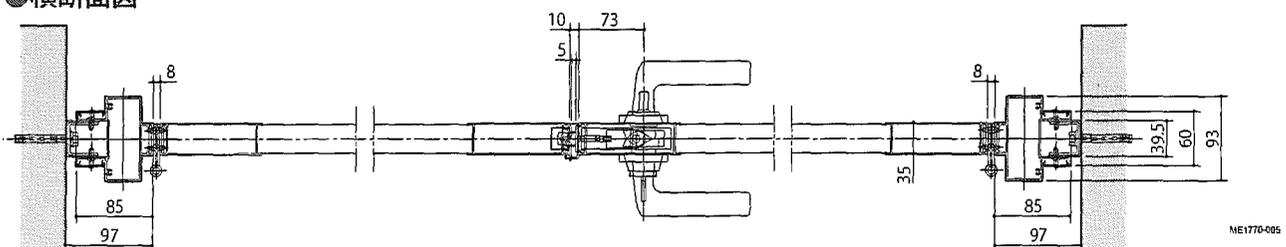


## 両開き

### ● 基本納まり図



### ● 横断面図



# 1

## 壁付支柱の取付け

### 1-1 後施工アンカーの埋め込み

①「納まり図」を参照して、後施工アンカーの埋め込み位置を確認してください。



後施工アンカー：左右各4ヶ所  
埋め込みピッチ：495 mm

②コンクリートドリルで壁面にφ10.5mmの孔を開け、孔のゴミを取り除いてください。



左右が一直線上になるように孔をあけてください。



壁面がタイル仕上げの場合は、専用のドリルキリを使用してください。  
※使用しないと、壁面にひび割れが起こる原因となります。

③ハンマーで後施工アンカーを埋め込んでください。

④壁付支柱をナットで固定してください。



●壁付支柱のルーズ孔を使用して、奥行レベルが一直線上となるように確実に合わせてください。

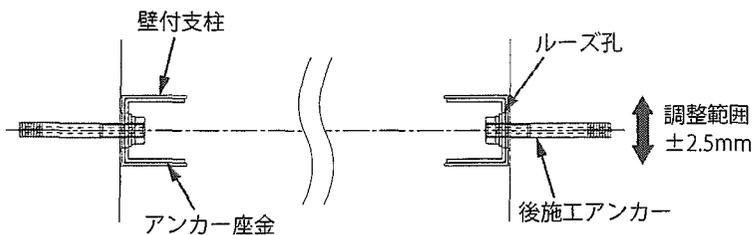
●垂直レベルを正確に合わせてください。

※壁付門柱取付後は調整することができません。

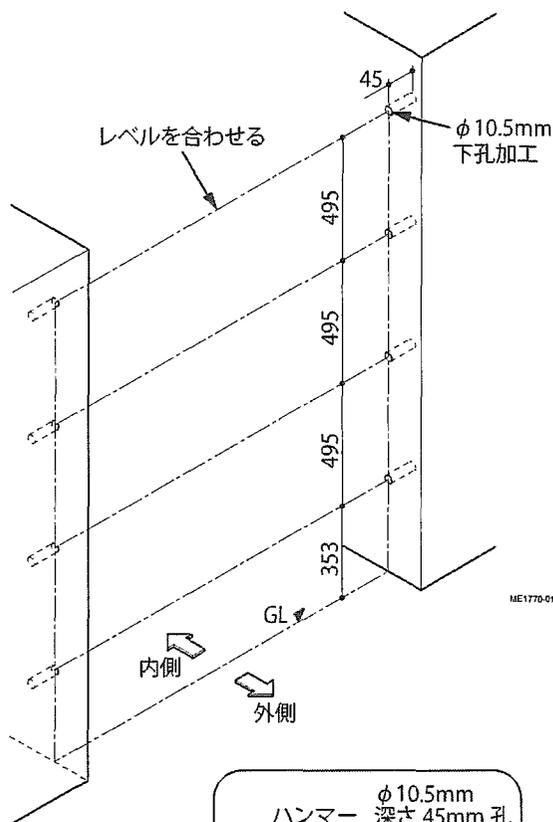


奥行調整範囲：±2.5mm

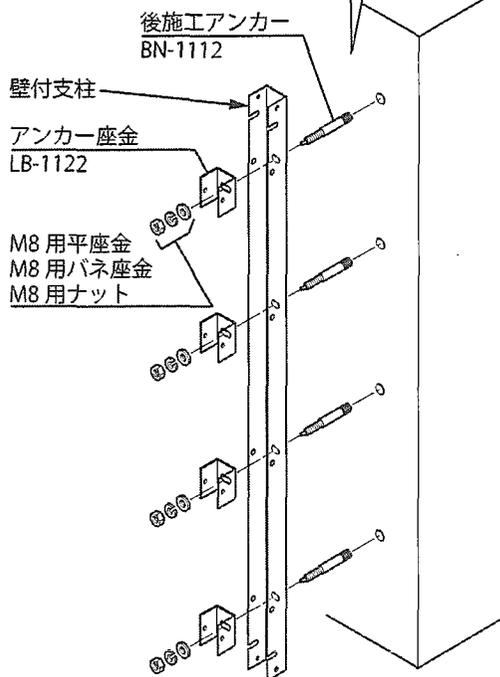
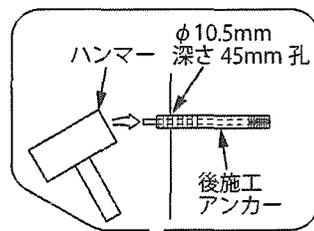
#### ●取付部平面図



ME1770-016



ME1770-011



ME1770-012

# 2

## 壁付門柱の取付け

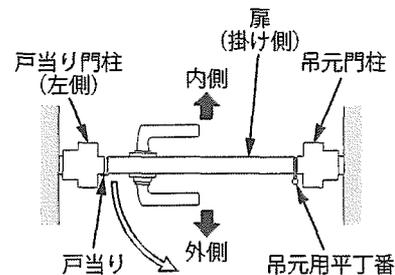
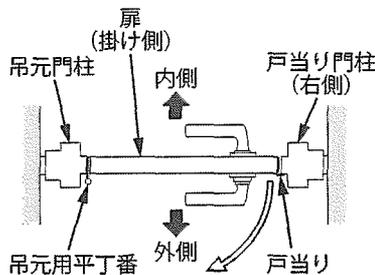
### 2-1 柱の種類と左右勝手の確認

①柱の種類と左右勝手による、柱の位置関係を確認してください。

●片開き

左勝手

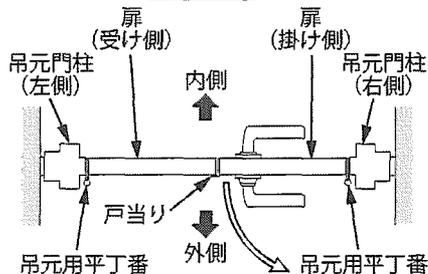
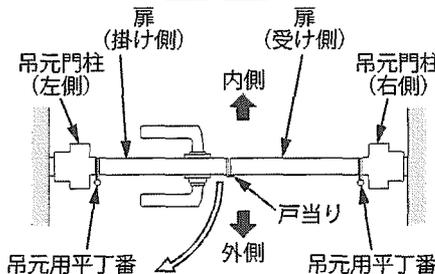
右勝手



●両開き

左勝手

右勝手



ME1770-013



開き勝手は外開きのみとなります。



門柱には、左側・右側の区別があります。

### 2-2 吊元門柱・戸当り門柱の取付け

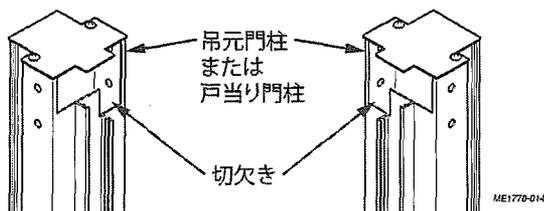
①吊元門柱または戸当り門柱を壁付支柱のアンカー座金に取付けてください。



門柱の左側・右側を間違えないようにしてください。  
※門柱上部の切欠きで区別してください。

●左側

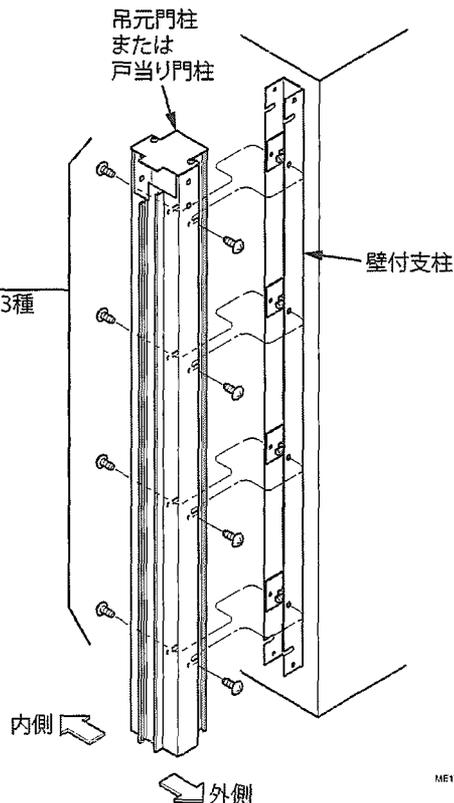
●右側



ME1770-014

※本図は、外側から見た場合を示しています。

φ5×10  
トラスタップピン3種



ME1770-015

※本図は、吊元門柱の場合を示しています。

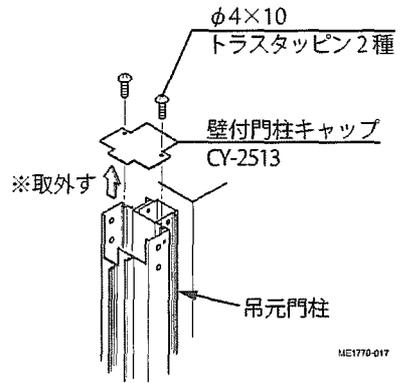
# 壁付門柱の取付け

## 2-3 吊元用平丁番の取付け (※吊元門柱のみ)

①上側の壁付門柱キャップを取外してください。

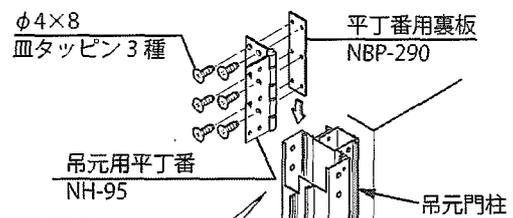
**!** 取外したビスは取付けに使用しませんので無くさないでください。

**☞** キャップは後工程で上枠を取付けた後に再び取付けます。



②平丁番用裏板を吊元門柱の溝にスライドさせて挿入してください。

**☞** 門柱1本につき平丁番用裏板を2枚挿入してください。

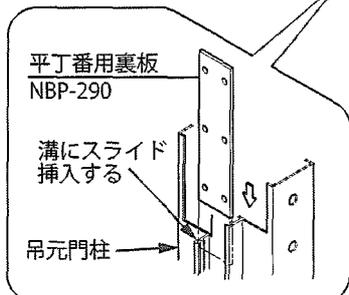


③「納まり図」を参照して、吊元用平丁番の取付位置を確認してください。

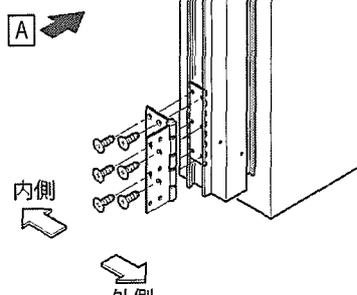
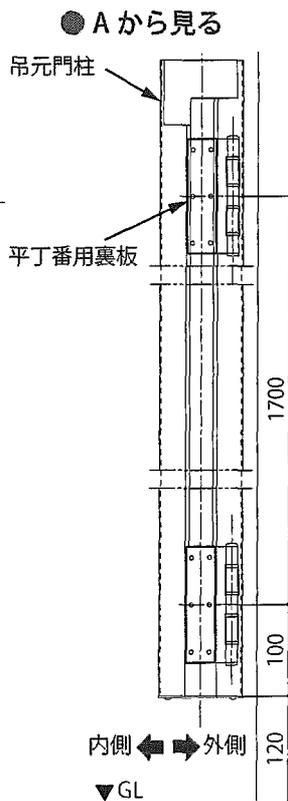
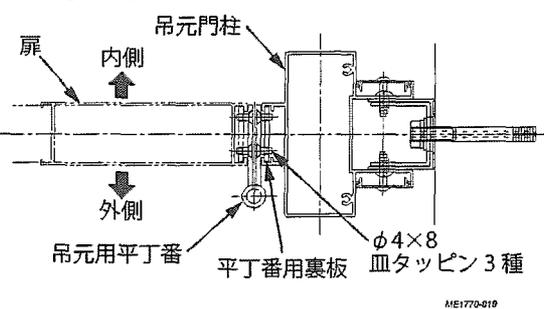
④吊元用平丁番を平丁番用裏板に取付けてください。

**☞** 吊元用平丁番：2ヶ所に取付け  
取付けピッチ：1700mm

**!** 「2-1」を参照し、吊元用平丁番の向きを確認してください。



### ●取付詳細図



# 3

## 上枠の取付け

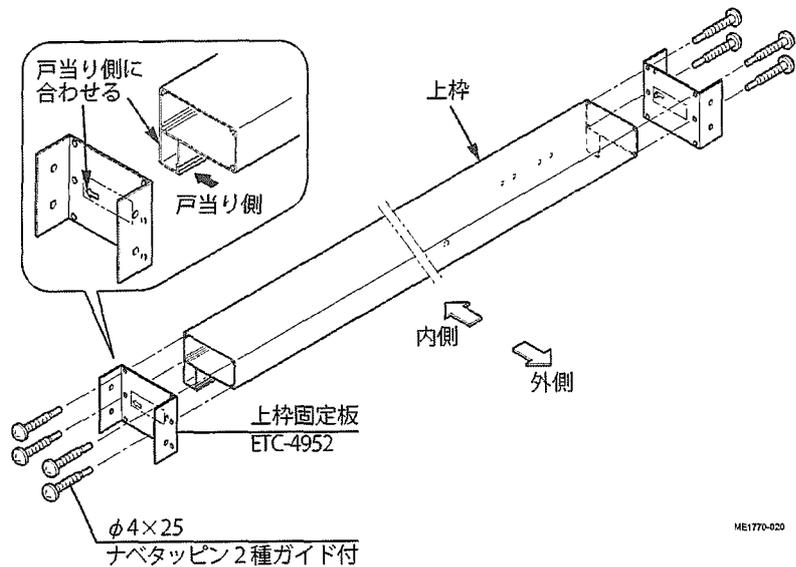
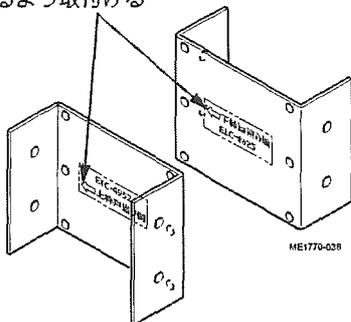
### 3-1 上枠固定板の取付け

① 上枠固定板を上枠に取付けてください。



上枠固定板の向きを間違えないようにしてください。  
※取付向きを間違えると、扉が納まらなくなります。

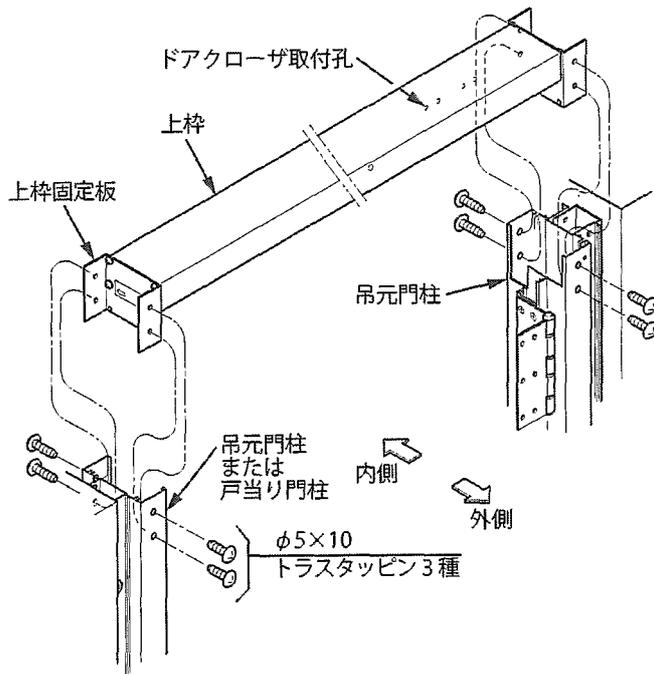
この矢印が内側になるよう取付ける



② 上枠を吊元門柱または戸当り門柱に取付けてください。



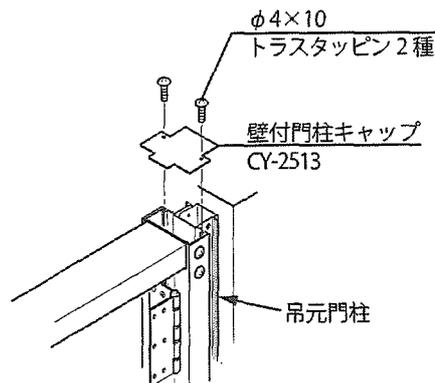
上枠のドアクローザ取付用の加工孔が、内側となるようにしてください。



③ 「2-3」で取外した壁付門柱キャップを吊元門柱または戸当り門柱に取付けてください。



「2-3」で取外したビスを使用して取付けてください。



※本図は、吊元門柱の場合を示しています。

# 4

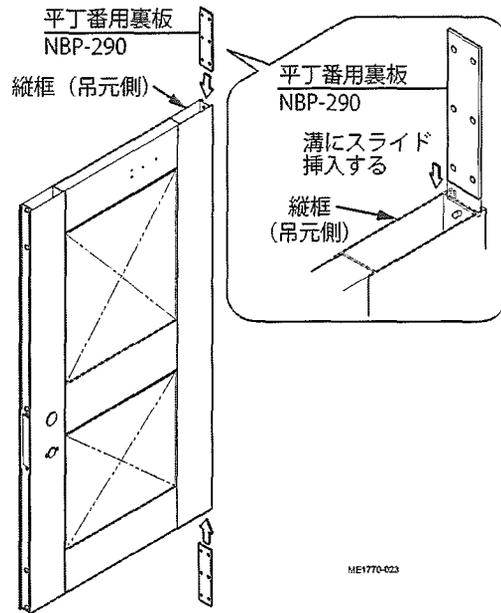
## 扉の取付け

### 4-1 扉の取付け

①平丁番裏板を扉（吊元側）の縦框にスライドさせて挿入してください。



扉1枚につき平丁番裏板を2個挿入してください。



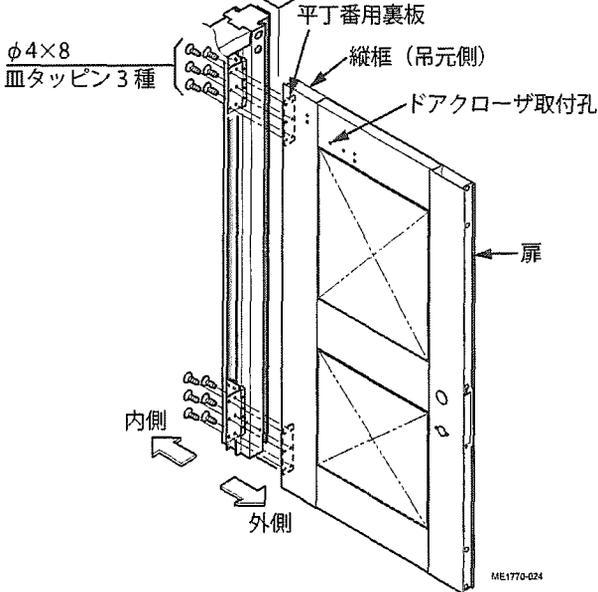
ME1770-023

②門柱に取付済みの吊元用平丁番と、扉の平丁番裏板をビス止めしてください。



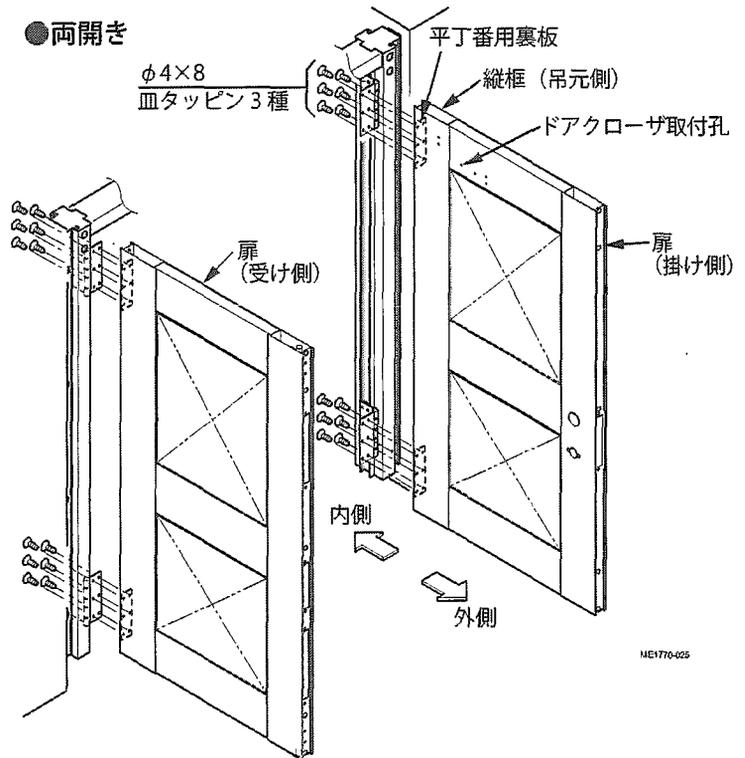
扉のドアクローザ取付用の加工孔が、内側となるようにしてください。

#### ●片開き



ME1770-024

#### ●両開き



ME1770-025

### 4-2 縦框キャップの取付け

①形材門扉「縦框キャップ」の取付説明書 [ME-1600] を参照して、縦框キャップを扉に取付けてください。



●参照説明書  
・形材門扉「縦框キャップ」  
[ME-1600]  
※説明書は縦框キャップと同梱されています。

### 4-3 扉位置の調整



- ここでは、チリ寸法を調整する手順を示しています。
- 奥行き方向を調整することはできません。

①吊元門柱のルーズ孔のビスを緩めて、扉のチリ寸法を調整してください。

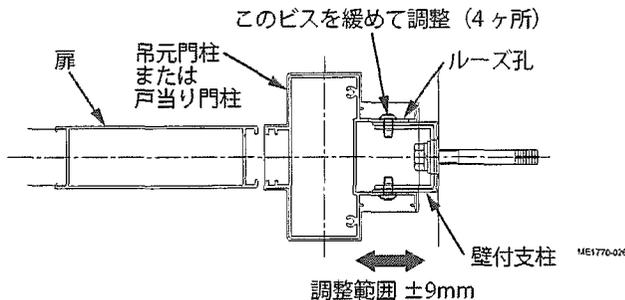


チリ寸法：10mm に調整  
調整範囲：± 9mm

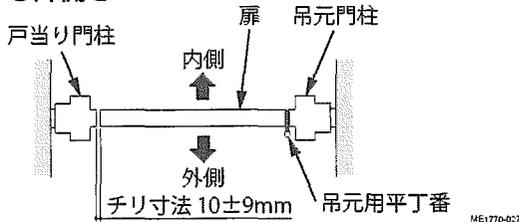


●両開きの場合は、左右の吊元門柱を均等に調整してください。

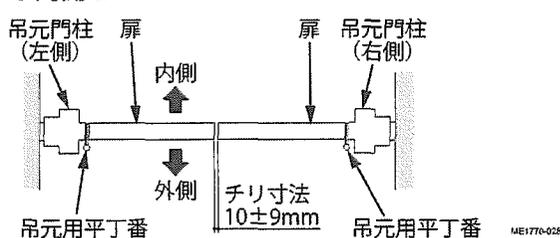
②調整後、ビスを確実に締め付けてください。



#### ●片開き



#### ●両開き



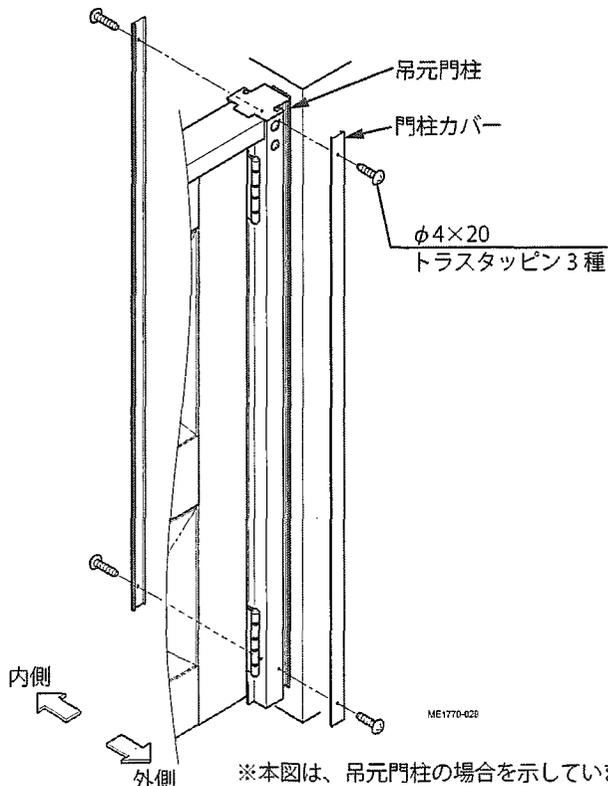
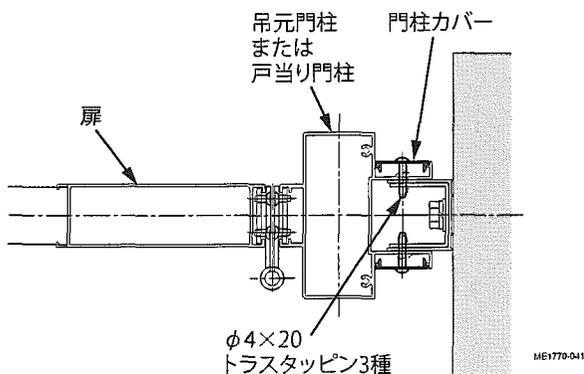
## 5

### 扉取付け後の作業

#### 5-1 門柱カバーの取付け

①門柱カバーを吊元門柱または戸当り門柱に取付けてください。

##### ●取付詳細図



※本図は、吊元門柱の場合を示しています。

## 5-2 錠の取付け



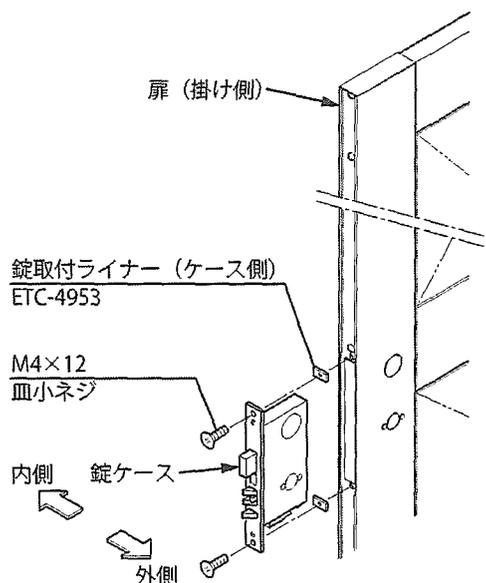
- 錠は、美和ロック社製『LHT\*-1 B.S.76 特注サムターン使用ハンドル付』を現場手配してください。
- 取付については、錠の梱包内の説明書に従ってください。

- ①錠ケースと錠取付ライナー（ケース側）を扉（掛け側）の縦框に取付けてください。



取付けビスは、錠に同梱されています。

- ②錠の梱包内の説明書に従って、サムターンおよびハンドルを取付けてください。

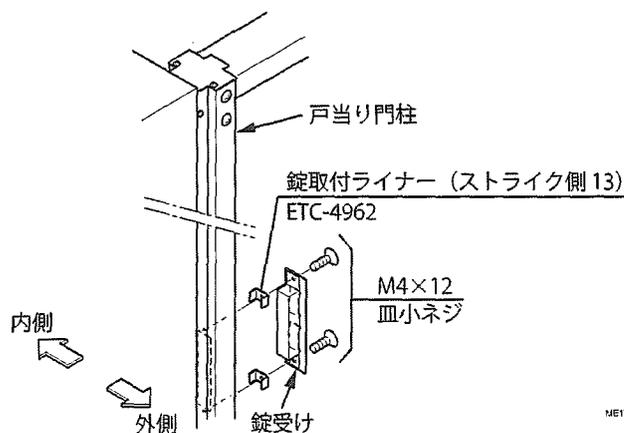


ME1770-030

## 5-3 錠受けの取付け

### 片開きの場合

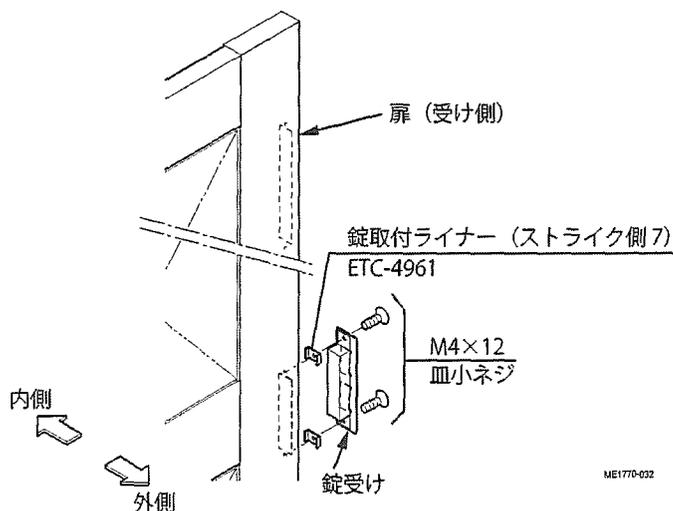
- ①錠受けと錠取付ライナー（ストライク側）を戸当り門柱に取付けてください。



ME1770-031

### 両開きの場合

- ①錠受けと錠取付ライナー（ストライク側）を扉（受け側）の縦框に取付けてください。



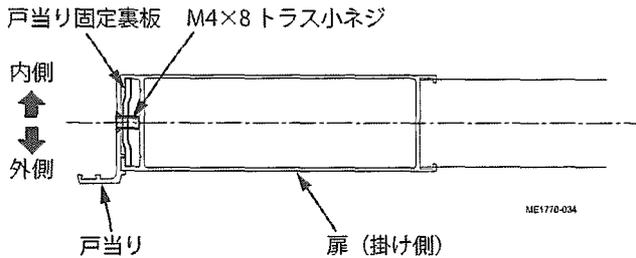
ME1770-032

### 5-4 戸当りの取付け

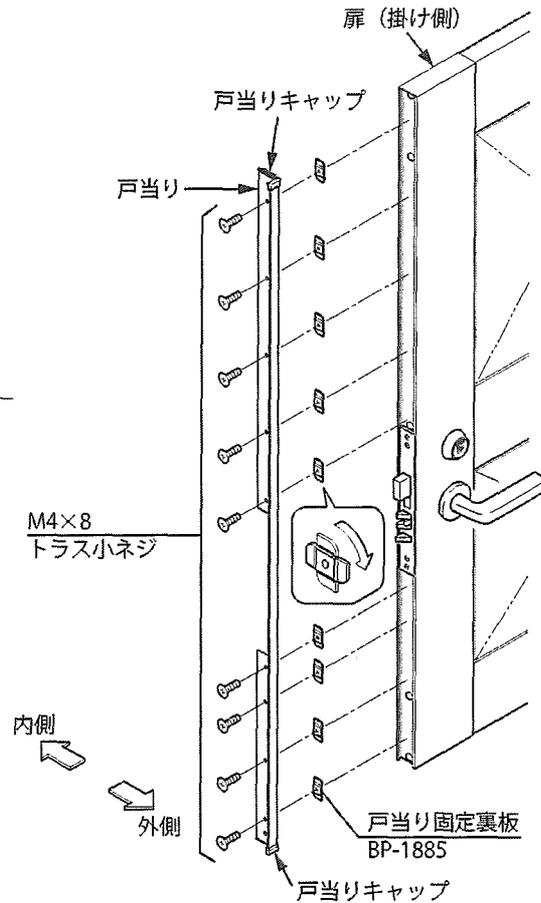


戸当りには左右勝手があります。

- ① 「2-1」で戸当りの勝手を確認後、戸当り用固定裏板を使用して、戸当りを扉（掛け側）に取付けてください。



ME1770-034



ME1770-033

### 5-5 ドアクローザの取付け



- ドアクローザは、日本ドアチェック株式会社製『P-182L』を手配してください。
- 取付方法については、ドアクローザの梱包内の説明書に従ってください。



ドアクローザは、内側にとりつけてください。

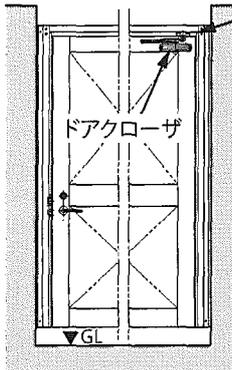
- ① 右図を参照して、ドアクローザの取付け位置を確認してください。
- ② ドアクローザの梱包内の説明書に従って、ドアクローザを上枠の加工孔および、扉（掛け側）の吊元側加工孔に取付けてください。



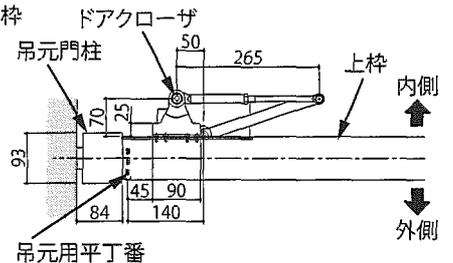
取付けビスは、ドアクローザに同梱されています。

●内観図

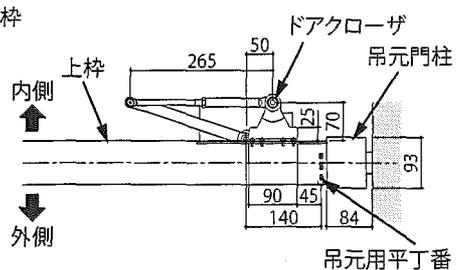
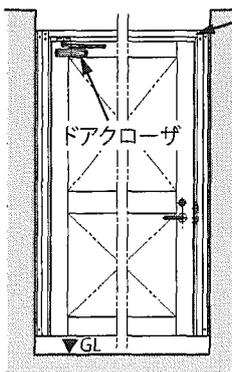
左勝手



●取付詳細図



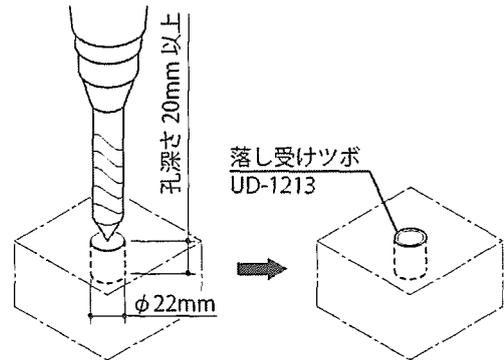
右勝手



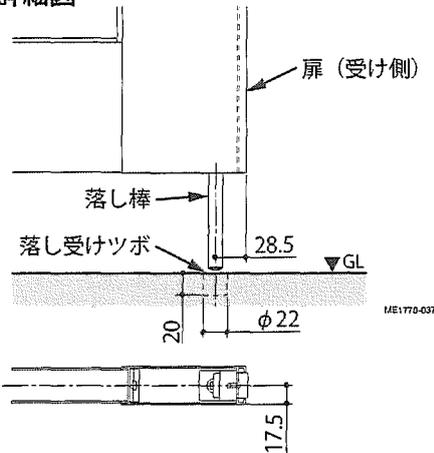
ME1770-040

**5-6 落とし受けの取付け (※両開きの場合)**

- ①扉 (受け側) を閉じた状態にしてください。
- ②扉 (受け側) の落とし棒に合わせて、  
φ 22mm、深さ 20mm 以上の穴をあけて  
ください。
- ③落とし受けツボを埋め込んでください。



●取付詳細図



**施工完了時の注意事項**

- ビス・ボルト類が確実に締め付けられているか確認してください。
- 可動部品については作動チェックを行い、不具合がないか確認してください。また、必要に応じて調整してください。
- 使用上危険な箇所等がないか点検してください。

**施工工事店様、販売店様へのお願い**

- 「取扱説明書」に基づき (同梱されているもののみ) 商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず  
施主様に説明してください。
- この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施工完了日	年 月 日
施工工事店	TEL ( ) -
販売店	TEL ( ) -
商品名	
その他	